



平成30年9月6日（木）
愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課
感染症グループ
担当 長尾、久野
内線 3160、3161
ダイヤル 052-954-6272

愛知県で風しんの患者数が増加しています！

1 概要

風しんの患者数が、7月下旬以降、関東地方を中心に大幅に増加しており、愛知県における今年の風しん患者数は7月までは3人でしたが、**8月は9人、9月は4日までに6人と急増しており、今後も拡大する可能性があります。**

風しんに対する免疫が不十分な女性が、妊娠20週頃まで風しんウイルスに感染すると、胎児にも感染を起し、先天性風しん症候群（心疾患、難聴、白内障等の障害）の子どもが生まれることがあります。

先天性風しん症候群の子どもの出生を防ぐためには、妊娠する前に予防接種を受けることが最も有効な予防方法です。

また、妊娠した女性への感染を防止するためには、周囲の方による妊婦に感染させない配慮（予防接種等）が必要となります。

2 風しんの予防等について

(1) 風しんの予防接種について

ア 定期接種（2回接種）を必ず受けましょう

定期接種対象者 1期：1歳児 2期：小学校入学前の1年間

詳細については、お住まいの市町村へ問合せください。

イ その他の年齢の方

医療機関で抗体検査を受けることで自身の免疫能を調べることができます。

なお、本県では妊娠を予定又は希望する女性で出産経験がない方（風しんの既往歴、ワクチン接種歴、抗体検査歴のある方を除く。）を対象にした風しん抗体検査事業を実施しておりますので、最寄りの保健所に御相談ください。

これまで風しんにかかったことがない方やワクチン未接種の方、抗体検査で十分な免疫がない方で、特に、次の方は予防接種を検討してください。

- ・10代後半から40代の女性（特に、妊娠希望者又は妊娠する可能性の高い方）
（※なお、妊娠中の方は予防接種を受けることができません。また、接種後2か月は妊娠を避ける必要があります。）
- ・妊婦の夫、子ども及びその他の同居家族
- ・30代から50代の男性（定期接種が1回接種もしくは未接種の世代）

○任意の予防接種の費用について助成をしている市町村もありますので、詳細については、お住まいの市町村へ問い合わせください。

(2) 発症した場合の対応について

発疹や発熱などの症状が現れたら、必ず事前に医療機関に連絡し、風しんの疑いがあることを伝え、医療機関の指示に従って早めに受診しましょう。

受診の際には、マスクを着用するなど、感染を広げないように注意し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

風しんと診断されたら、他の方につさないためにも、可能な限り自宅で安静に過ごしましょう。

3 参考

(1) <風しんの発生状況>

(人)

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
愛知県	98	375	21	13	20	3	18
全国	2,386	14,344	319	163	126	93	273

<先天性風しん症候群の発生状況>

(人)

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年
愛知県	0	2	0	0	0	0	0
全国	4	32	9	0	0	0	0

注) 平成 29 年、30 年の全国は速報値

平成 30 年の愛知県は 9 月 4 日まで、平成 30 年の全国は 8 月 26 日までの計

<愛知県における風しん患者の概要 (平成 30 年) >

	計	年齢 (人)					ワクチン接種歴 (人)			
		10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	2 回	1 回	なし	不明
男性	15	1	3	4	4	3	0	2	6	7
女性	3	0	2	0	1	0	0	2	1	0

注) 9 月 4 日までの数値

患者住所地	人数
名古屋市	8
豊田市	2
豊橋市	2
一宮市	1
尾張旭市	1
扶桑町	1
大府市	1
安城市	1
西尾市	1

(2) 関東地方での発生状況について

7月下旬から、関東地方を中心に風しんの患者数が大幅に増えています。

千葉県：84件、東京都：72件、神奈川県：24件、埼玉県：18件

(平成30年1月1日～8月26日までの速報値)

(3) Webページによる啓発について

風しんの情報については、以下のWebページをご参照ください。

①愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課「風しんについて」

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/0000061106.html>

②愛知県衛生研究所「愛知県における麻しん・風しん患者発生報告状況（2018年）」

http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/msl/msl_2018.html

③厚生労働省「風しんについて」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/

④厚生労働省「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/rubella/dl/180814_1.pdf

⑤国立感染症研究所

「首都圏における風疹急増に関する緊急情報：2018年8月29日現在」

<https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/rubella/180904/rubella180904.pdf>

風しんとは

- 風しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、飛沫感染によりヒトからヒトに感染します。
- 感染すると、約2～3週間（平均16～18日）の潜伏期間の後、発熱や発しん、リンパ節の腫れなどの症状が出ます。
- 風しんに対する免疫が不十分な女性が、妊娠20週頃までに風しんウイルスに感染すると、その胎児も感染し、先天性風しん症候群（心疾患、難聴、白内障等の障害）の子どもが生まれることがあります。
- 風しんにかかってしまったら、特別な治療方法はなく、症状を軽減するための対症療法しかありません。